学校番号	１００９

令和３年度　美術科

教科	美術科	科目	クラフトデザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	な　し						
副教材等	な　し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の伝統工芸について学びながら、生活に根ざした工芸作品の制作に取り組むことによって、日本の工芸文化に興味を持ってもらいたいと考えている。また、素材の持つ性格や役割などを理解した上で、工芸作品が誰によってどのように使用されるものかを考えさせることで、本当の工芸作品の素晴らしさに気づくと共に、他者の立場になって物事を考えられる力を育てたい。

・鑑賞では、他者の作品を鑑賞し意見を交換することで、作品や作者の個性などについての多様な見方ができるようになり、個性豊かな美術の能力を高められるよう指導

２　学習の到達目標

工芸の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、工芸を愛好する心情を育てるとともに、感
性を高め、工芸文化についての理解を深め、個性豊かな工芸の能力を高める

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な工芸の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	工芸や工芸文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 レポート ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子 作品	ワークシート アイデアスケッチ等の下絵 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞活動やグループワークシート アイデアスケッチ等の下絵 作品 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	紙を使ったお道具箱制作	【ペーパークラフト】 制作 厚紙を用いて、箱（フタ付）を制作。 箱が完成したら、自分の名前、マーク、イラスト等を描かせデコレーションする。	○		○	○	a:紙の多様な表現に関心を持ち、紙での制作に意欲を高めている。 c:正確に形を作り出すことができている。 d:紙の特徴や道具の扱い方を理解できている。	制作途中の作品 作品
	張り子を使ったお面制作	【張り子】 アイデアデザイン お面の歴史や他国との比較、表情や感情の表現など学び、デザイン画を制作。 制作 お面の形を制作、新聞紙等で張り子にしていく。 絵の具等で着色し、ニスを塗る。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:お面の多様な表現に関心を持ち、紙での制作に意欲を高めている。 b:感性や想像力を働かせ、自己の表現を考え主題を生成し、形体、色彩などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:お面の目的、機能を知るとともに、紙の特徴や道具の扱い方を理解できている。	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	籐を使ったカゴ制作	【籐】 アイデアデザイン 籐を使ってどのような作品が制作できるか考えデザイン画を制作。 制作 籐の編み方を学び、編み目が不揃いにならないように注意しながら編んでいく。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:籐の多様な表現に関心を持ち、制作に意欲を高めている。 b:機能や用途、目的や条件を満たす形状を考えて、表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料の特徴を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:籐の特徴を知り、伝統工芸に理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品

後期	ステンドグラスによるランプ	【ガラス】 アイデアデザイン ガラスのカットの仕方や色の組み合わせを考える。 制作 ガラスを切り、組み合わせてはんだで貼り合わせる。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:ガラスの多様な表現に関心を持ち、制作に意欲を高めている。 b:機能や用途、目的や条件を満たす形状を考えて、表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料の特徴を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:ランプの目的、機能を知るとともに、ガラスの特徴や道具の扱い方を理解できている。	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	ステンシルを使ったバッグのデザイン	【染色】 アイデアスケッチ 様々な柄の名前や文化を学び、基本の型を考える。 基本の形をどのようなパターン(繰り返し)模様にするか考える。 制作 基本の形のステンシルシートを作る。 バッグに形を染色していく。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:ステンシルの多様な表現に関心を持ち、制作に意欲を高めている。 b:機能や用途、目的や条件を満たす形状を考えて、表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料の特徴を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:バッグの目的、機能を知るとともに、ステンシルの特徴や道具の扱い方を理解できている	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。